



「関西知識回廊」の形成促進

「関西知識回廊^{*1}」の形成により、産業再生・都市再生を目指します。

● 背景 ●

産業再生とそれによる雇用の創出は、近畿における直近の最重要課題といえます。

関西では、関西文化学術研究都市や国際文化公園都市、播磨科学公園都市等の学術研究拠点が点在しています。これらの広域的な連携を通じ、新たな創造性を生み出し、関西の産業再生と都市再生につなげるのが、関西知識回廊です。

京奈和自動車道の整備は、これらの学術研究拠点等を広域的に連携する役目を果たし、関西の産業再生と都市再生につながる関西知識回廊の一部を形成します。

● 事業内容 ●

平成17年度の一部開通を目指し、事業を推進します。

京奈和自動車道は、京都市、奈良市、和歌山市等の諸都市を連絡する延長約120kmの自動車専用道路です。第二名神高速道路などと連携し、京阪神都市圏の外郭環状道路の機能を有する極めて重要な路線です。

これまでに、京奈道路の延長17km

が開通しており、奈良県大和郡山市から和歌山市間約76kmについて事業を展開しているところです。

また、「関西文化学術研究都市」において、都市・住宅整備等の事業を進めています。

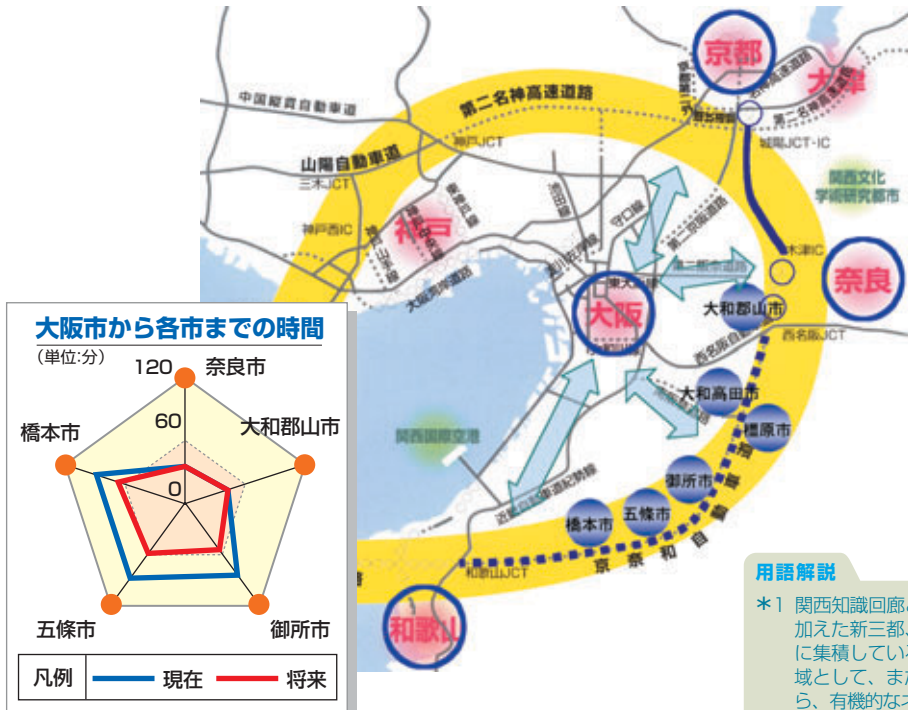


関西知識回廊を形成する広域交通ネットワーク

● 事業効果 ●

沿線地域の交通課題を克服し、地域に新たな交流と活力をもたらします。

関西には自然が多く、東京にはない魅力ある空間が数多く存在します。京奈和自動車道は放射道路と一体となり、都市間相互の移動距離を大幅に短縮し、大阪都市圏の面積を広げ、関西知識回廊の形成を促進します。



京奈和自動車道整備効果

用語解説

^{*1} 関西知識回廊とは、関西文化学術研究都市を中核に、光都、彩都を加えた新三都、及び大阪、京都、神戸等の大都市を軸として、関西に集積している学術研究拠点とその周辺地域は、学術研究の集積地域として、また、新しい産業の創造地域として、互いに競争しながら、有機的なネットワーク提携をしていくことが期待されています。学術研究拠点を中心に多様な連携と交流を進めることによって、未来への展望を示す新しい知恵や産業が生み出され、地域と新産業の結びつきが新たなコミュニティの形成につながり、世界中から人々が集う回廊となることをめざします。